4歳児 とり組 IV期 9月29日～10月3日

友達や教師とのかかわりの中で、自分なりの動きを出して遊びを楽しんでいく

時期

ねらい

○自分が思ったことを動きや言葉に表しながら、好きな遊びを楽しむようになる。

●学級や年長児のみんなと一緒に行う活動に喜んで参加し、大勢で動くと楽しいと感じるようになる。

☆生活の流れの中で、生活に必要なことを自分からしようとする。

園長	とり組担任
鈴木	金子

幼児の姿に、「それぞれの動きを楽しんでいる」とありますが、どんな動きで、動きの何を楽しんでいるのか、具体的でないですね。幼児一人一人が楽しんでいる内容を具体的に理解することが幼児理解につながり、適切な指導ができるようになります。もう少し「それぞれ」の内容を把握してみて下さい。

幼児の姿

〈遊び、人とのかかわり〉

- 登園するとすぐに園庭に出て遊び始める。いろいろな動きに興味をもてるようかけっこが出来るようなコースを作ると、興味をもって繰り返しかけっこを楽しむ幼児の姿が見られる。心地よい気候の中、保育者や友達と一緒に身体を動かして遊び楽しさを十分に感じている姿が見られた。
- 室内では、一緒に遊びたい友達とつみ木やござ等で場を作り、友達とかかわりながら、それぞれの動きを楽しんでいる。
- 一人一人が思ったことや考えたことを言葉や行動で表しながら遊ぶようになってきたが、自分の思いが相手に伝わらずにトラブルになることが多くなっている。

〈生活への取り組み〉

- 片付けや身の回りの始末、話を聞く姿勢は、教師が自分で意識出来るような言葉をかけることで、自ら意識して動くようになっている。

〈学級全体での活動〉

- 運動会の歌や年長組と一緒に取り組む(ししのまい、かけっこ)中で、運動会があることがわかり、みんなで集まって歌ったり、身体を動かしたり休憩したりすることを喜び、楽しんでいる。生活の流れに慣れてきたことで、気持ちが緩み、教師の話や全体の動きになかなか集中できない幼児もいる。

経験する内容

○自分のしたい遊びを見つけて遊ぶおもしろさを実感する。

○遊びの中で、自分が思ったことを言葉や動きで表し、伝わってよかった、一層楽しくなると感じる。

○自分の思ったことを表し、保育者や友達に受け入れられる嬉しさを感じる。

○友達の動きを見たり、言葉を聞いたりして自分なりの動きをし、友達の良さを感じる。

○友達と一緒に思いきり身体を動かして遊び、動きがつながる楽しさを実感する。

●学級の友達や年長組と一緒に身体を動かしたり、(かけっこ、玉入れ等)動きや声を合わせたりする気持ち良さを感じる。

●簡単なルールのある遊びを楽しむ中で、ルールがあると遊びが楽しくなることがわかる。

●運動会の歌に親しみ、皆で声を合わせて張りきって歌い、運動会に期待をもつ。

☆所持品の始末、遊びの片付け等、自分から取り組み、自分からすることの必要性を感じる。

☆順番がわかったり、簡単な合図を聞いて動いたりすることの大切さと合わせもに心地よさを感じる。

環境

- 2～3人の一緒に遊びたい友達とのかかわりを楽しめるように、遊具の数を調整したり、一人一人に十分に行き届くように材料を出したりする。
- 年長児の運動会の取り組みを見られるような機会を作ったり、「ししのまい」や「かけっこ」等、遊びの場が共有されるようにしたりする。(担任同士の連携を大切に!!)
- 玉入れ、体操、かけっこ、ジャンプ等、興味をもって身体を動かしたくなるように、用具を用意したり、場や遊具を工夫して作ったりする。
- 自分の顔の描画が完成したら、壁面に飾り、運動会の雰囲気作りを徐々にしていく。

教師の援助

◎思っていることや考えていることなど、幼児が表していることを十分に聞いたり、受け止めたりし、一緒に遊んでいる幼児に知らせたりしていく。また、言葉を返す時には、その幼児の気持になって、かける言葉を考えることを大切にする。

◎幼児の言葉を繰り返し、保育者が話すことで、友達の動きに気付くようにしたり、一人一人の動きをつなげたりするきっかけにしていく。思いを出したり伝えたりして良かったと思えるような言葉をかけていく。

◎互いに思いを出し合うことで、遊びが途切れたり、トラブルになったりするので、思いが通じにくい時は、保育者が代弁したり、「このような言い方だと良かった」と言葉を知らせたりして、相手にも思いがあることに気付くようにしていく。

◎運動会練習で疲れが出ることが予想されるため、子供の体調を見ながら進めていくようにする。午前中や急激に差が見られるので、様子を見ながら個別に声をかけるようにする。

保育資料

♡日頃、楽しんでいるリズムや遊びや幼児の興味が、運動会の活動につながるように!!

毎日が運動会ごっこ

- 歌…燃えろ運動会、ゴーゴーゴー　どんぐりころころ
- リズム…ししのまい、ラジオ体操、勇気100%
- 運動遊び…かけっこ、玉入れ、巧技台、ジャンプ・トランポリン
- 表現遊び…絵の具の描画、マジックで描く旗

保護者との連携

言葉を表すことは多くなってきたが伝わらなかったり、気持ちがすれ違うこともあり、トラブルになる。今は互いの気持ちが行き交うような援助をしたり、伝え方などを知らせ、相手に伝わると互いに良い気持ちになるということを大切にしていることを伝える。

評価の視点

- 思いを表している一人一人の幼児を大切に受け止めるような言葉や環境が準備出来ていたか。
- 自分が思ったことを安心して言葉や動きに表しながら遊びを楽しめるような言葉をかけることが出来たか。
- 一人一人が楽しみながら取り組めるような環境や言葉かけが出来ていたか。

29日(月) 園内研究、研究保育

○遠足で見てきたものを思い出しながら、絵の具を使って自由に絵を描き、話のやりとりから、保育者との一体感を感じる。

登園、所持品の始末
好きな遊び (…絵の具の描画)
片付け (10:15)
排泄、集まる
●はな組と「ししのまい」(遊戯室)
弁当
好きな遊び (玉入れ)
学級活動 (13:35)
14:00 降園

週明け、自分から遊びを見つけて取り組んでほしいという願いから保育者が描画をする準備を行った。興味をもった幼児が、自ら取り組み始めた。遠足で見てきたものや、自分の描きたいものをイメージして話て表したり、保育者と一緒に見たことの話等、教師との様々な会話を楽しんだ。保育者とのかかわりの中で、新たなイメージが膨らんだり、刺激を受けた新たな幼児が入ってきたりするなどの様子が見られた。「一緒に見たお兄だね!」「ここのぬり方がとても素敵だね」等、一人一人にかける言葉やかかわりをしたことから、子供が伸び伸び取り組む楽しい描画の取り組みへとつながった。環境の刺激のしあい、幼児も保育者もそれぞれの動きが環境として重要な役割をしていることを実感した。

30日(火)

○昼に合わせて動かしたり止まったりすることを繰り返しながら学級のみんなと一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

登園・所持品の始末
好きな遊び
片付け (10:45)
●フラープで遊ぶ (保育室)
弁当
好きな遊び
学級活動 (13:35)
14:00 降園

普段戸外で親しんでいる遊具の新たな遊び方を知るきっかけとなることの願いから、初めて学級活動にフープを取り入れた。「早くやってみたい!」と表情明るく、興味を示す幼児が多かった。ピアノに合わせて、リズミカルに動くことで、流れにのるおもしろさや、全体がそろう心地よさなど、実感出来た幼児が多かったと思う。集中できない幼児や流れにのれない幼児には、他の幼児と合わせる、つながることの心地よさが実感できたと思われる。

1日(水)

都民の日

2日(木) 安全指導

○みんなで踊る体操に興味をもち、楽しく踊る。

登園、所持品の始末
好きな遊び (ラジオ体操)
片付け (10:45)
●はな組と運動会の取り組み (小学校 校庭)
弁当
好きな遊び (万国旗)
学級活動
10:45～「ししのまい」入場、退場、ラジオ体操
14:00 降園

ラジオ体操に興味をもってほしいという願いから、好きな遊びの中で保育者が曲をかけ、踊り始めた。保育室と園庭のどちらからも目に入る場所を選んだことで、それぞれの場所で遊ぶ幼児が興味をもって見に来たり、一緒に身体を動かし始めたりした。全体でするだけでなく少人数でするよさを実感した。保育者が生き生きとした表情で動作を大きく楽しそうに身体を動かすことで見よう見まねで自分の動きを出して楽しんでいた。また、「夏休みにやったことあるよ!」という幼児に対して、保育者が、「ほんと? 先生まだよくわからないから教えてくれる?」と声をかけると、船言をもってそばで身体を動かし始める姿が見られた。このような保育者のかかわり・環境から、自分からやってみようと動きを出す幼児の姿へとつながった。

3日(金) 運動会全体練習

○小学生と手をつないだり、一緒に動いたりすることを喜ぶ。

登園・所持品の始末
運動会練習 (9:30～)
好きな遊び
片付け (11:30)
弁当
(今日作ったものの整理
ロッカーの整理
万国旗作り)
14:00 降園

*9:20 プール前集合
(~~排泄~~ 入場、応援歌
ラジオ体操
*10:~~00~~50～5年生との練習

初めての活動や状況に対し、不安や抵抗を示す幼児もいるので、一人一人が安心して取り組むことが出来るように前日から、今日の活動を予告しておいた。

するとやることのイメージが自分なりに出来、張りきって並ぶ幼児や、そばに来た5年生と嬉しそうに手をつなぐ幼児がいた。教師が、ペアで手をつなぐ様子を見て「~くんより大きくて素敵なお兄さんから、こいいよね!」「手つなげて嬉しいね。」と声をかけると、照れたり、さらに喜びを示したり、5年生と目と目を合わせたりする姿が見られた。練習では、ゴムとびやフープくぐり、お花をボードに貼りつける等、2人で行う活動や作業があることで自然なかかわりが生まれた。今日抱いた思いを大事に、次回へとつなげていきたい。今日は女教師は女教師なりに見通しがもてるということに気付かされた。